

臨時職員の処遇改善を



議員 前川原 正人
動画視聴

問 総務省は、2014年7月、臨時・非常勤職員の雇用の在り方について、雇用期間に定めがあることで労働者に不利益が生じないことを通知している。市役所の臨時職員の処遇改善として、残業手当や通勤手当を正職員と同じように支給すべきではないか。

答 国や県、近隣自治体の動向を注視しながら、適切に対応していきたい。賃金については、近隣自治体の水準を踏まえつつ、雇用環境に応じた賃金水準への検討・見直しをしている。

小学校給食の無料化で子ども貧困対策を

問 滋賀県長浜市では、子育て支援の一環として小学校給食費を無料としている。霧島市でも、人口増加対策や子育て世代の経済的負担軽減などの効果が期待できる給食無料化を実施すべきではないか。

答 過疎化対策や子育て支援策として、全国的にも完全実施や一部無料化している自治体がある。本市で無料化した場合、試算で約3億円の財源が必要となり、将来に大きな財政負担を残すことになることから現時点では、無料化は困難と考える。

その他の質問
・教職員の長時間労働の解消について

学童机及び椅子の整備計画を問う



議員 中馬 幹雄
動画視聴

問 近年、児童の身体成長が大きく伸びているなかで、高さ調整のできない机・椅子を多く見受けられる。調整できるものとそうでないものの割合はどうか。なかには20年前のものもあるが、毎年の更新数は何脚か。



現在、使われている机・椅子

成長期における正しい姿勢での授業を受けるため、早急の更新はできないか。

答 調整可能な机は64%、また、調整可能な椅子は61%である。なお更新は、学校に希望調査を行い、毎年500脚程度を購入している。すべての学校を調査し、教育施設の環境整備に努めたい。

用水路敷きを整備して通学路の安全対策を

問 全国的に、登下校時の交通事故が多発している。車の通行が多く狭い市道を通学路としているが、隣接した用水路敷を通学路として利用できないか。

答 子供たちの安全な通学路確保のため、再度、現場を踏まえて、あらゆる関係機関を交えて検討したい。

人口増対策について



議員 池田 綱雄
動画視聴

問 全国的にどの自治体も人口が減少していくなかで、本市の将来目標人口を13万人に設定した根拠はなにか。

答 根拠としては、本市が県央に位置し空陸交通の要衝であること。京セラ・ソニー等世界に誇れる企業が多く立地し、第一工大や鹿児島高専等の教育機関を有し人材確保の強みがあること。全国に先駆け移住定住の推進、子育て環境や社会福祉などの充実、道路、住宅などハード面の整備により合併後人口を維持してきたこと。これらを総合的に判断し、オール霧島で取り組むことで実現不可能な目標ではないと

結論付けた。
人口を増やすには、結婚・出産が一番

問 若者の多い霧島市だが結婚をしていない若者も多い。その理由は出会いの場が少ないためと聞く。人口を増やすには結婚をして子供を産んでもらうのが一番であると思う。以前、市が出会いの場を設け好評だったが、現在の取組はどうか。

答 霧島市ふるさと創生総合戦略では、結婚につながる出会いの場の創出や子育て環境の整備に取り組んでいる。また、県が実施している婚活サポーターの募集の受付や、企業や団体と連携した婚活イベント等の実施に向けた推進体制を図りたい。



農道・市道の計画的な整備を



議員 塩井川 幸生
動画視聴

問 市街地周辺の農道や市道の交通量が増えて散歩、通学路として危ない状況にある。計画的に農道や市道の整備を進めるべきではないか。また、大型化している農業機械の通行に対して農道、市道の離合場所設置や拡幅工事を急ぐべきと思うが市の計画はどうか。

答 緊急性や優先度を考慮して、農道等については水路上に蓋等を設置して離合場所の確保をしてほしいとの要望があり、現地調査等をして必要な対策を実施している。市道については地域まちづくり計画書に基づき、計画的に進めていきたい。



その他の質問
・中山間地域活性化について

道路整備は渋滞箇所の解消から



議員 宮本 明彦
動画視聴

問 しらさぎ橋開通による副作用として発生した渋滞や事故など、喫緊の課題を解消する対策はどのようなものか。

答 交通渋滞を確認している国道223号の隼人山形屋前交差点は、信号機の時間調整を実施し、橋東側交差点への信号機は、警察へ設置の要望を行っている。また、天降川小学校付近の点滅信号交差点は、年明けを目途に交差点の整備を行い、押しボタン式の信号機を設置する予定である。

問 次の10年に向けた道路整備をどう構想しているのか。



天降川小学校付近の交差点

その他の質問
・「公共施設管理計画」の進捗について

有害鳥獣捕獲報償費不正受給問題は徹底究明すべき



議員 中村 満雄
動画視聴

問 報償金不正受給調査の結果を問う。

答 虚偽の疑いがあると市が判断した全ての者に対し聞き取り調査を行った。29名、252件、最大は40件。駆除をしていないのに駆除をしたとの事実確認はできなかった。申請書類に不備があったとの認識であり完璧でないとの指摘はそのとおりである。猟期の「冷凍耳尻尾」を使つての虚偽申請の聞き取りは行っていない。不正を認めていない者への説得行為を他者に依頼したかは確認できていない。一件は2か月、複数違反は1年の資格停止とする。違反を

否認している方とは先方の都合で接触できていない。

環境破壊を招くメガソーラー推進政策は見直すべき

問 隼人町野久美田、牧園町高千穂、霧島水水のメガソーラー案件で、地元被害が多発している。住民への説明は不十分である。新たなメガソーラー建設案も多数ある。許認可手続きにも多くの問題がある。稼働後の維持管理にも不安を覚える。霧島市の環境破壊を招くと思われるメガソーラー推進策は見直すべきではないか。

答 エネルギー100%の地産地消をめざし環境への配慮がなされ、住民の皆様の理解が得られたものについては、積極的に推進する。住民説明は適切に行われている。県から届く事業者申請書類の信憑性は確認しない。